

第2回 基本方針策定タスク 議事録

1. 日 時 平成13年5月24日(木) 17:30～19:00

2. 場 所 日本電気協会 B会議室

3. 出席者 (順不同, 敬称略)

委 員: 近藤委員長(東京大学), 浅井(日本電気協会), 石本(東京電力), 樋口(日本原電), 本陣(東京電力), 矢作(東京電力), 五十嵐(東京電力)

欠席委員: 友野副委員長(東京電力), 班目幹事(東京大学), 遠藤(日本原電), 山川(日本原電), 渡辺(日本ニュークリアーフューエル)

オブザーバ: 堀江(日本電気協会)

事務局: 猪木・岩井(日本電気協会)

4. 配付資料

No.2-1 第1回基本方針策定タスク議事録(案)

No.2-2-1 日本電気協会 原子力規格委員会の基本方針

No.2-2-2 日本電気協会の規格 活動方針案(4および5)

No.2-2-3 原子力発電関連規程・指針の整備状況(平成13年5月現在)

No.2-2-4 日本原子力学会 標準委員会の活動基本方針

No.2-2-5 日本電気協会 原子力規格委員会 規格策定基本方針

No.2-2-6 日本電気協会 原子力規格委員会 委員心得(案)

No.2-3 基本方針策定タスクメンバー

5. 議事

(1) 前回議事録確認

事務局から, 前回議事録案の説明があり, 原案どおり了承された。

(2) タスクグループ主査の任命

近藤委員長から, 班目幹事がタスクグループ主査に任命された。

(3) 委員会の基本方針について

本陣委員から, 資料 No.2-2-1 に基づき, 原子力学会及び機械学会の民間規格作成組織の基本方針を踏まえた原子力規格委員会の基本方針案の目次について, また資料 No.2-2-2 に基づき, 原子力規格委員会の基本方針案のうち, 「4.規格の制定・改

定・廃止方針」及び「5.国内他機関との協力」について説明があった。

引き続き、樋口委員から、資料 No.2-2-5 及び No.2-2-6 に基づき、原子力規格委員会の基本方針案について ASME の考え方を参考にして作成したという説明があった。

議論の結果、本日の意見等を踏まえて本陣委員及び樋口委員で修正した基本方針案について、タスク委員にレビューを依頼し、それに対していただいた意見を踏まえて再修正した上で、6月5日開催予定の第2回原子力規格委員会で提案説明し、意見をいただくことになった。この意見を踏まえて基本方針案を修正し、第3回原子力規格委員会で審議した後、書面投票による決議に入ることを目途に進めることになった。

その他の決定事項は以下の通り。

- ・他の民間規格作成組織の活動方針も記載してあるので修正する。
- ・資料 No.2-2-2 の P1 : 「原子力設備のユーザ」及び「規格ユーザ」の定義をする。また「電気機械機器の個別設計に関わるもののうちでユーザに密着した内容」がわかりにくいので見直す。
- ・資料 No.2-2-2 の P2 : 「4.2 規格の体系」に関し、JEAC と JEAG の区分については、新規約に基づき原子力規格委員会が活動を始めたので、今後は、従来の区分の仕方と異なった考え方によっても良いものかどうか検討する。
- ・資料 No.2-2-2 の P2 : 「4.2 規格の体系」に関し、QA 集の迅速な改定ができるよう審議方法を検討する。また、「コードケース」を分かり易い用語に修正し、コードケース制定上の手続きについては削除する。
- ・資料 No.2-2-2 の P4 : 4.4.2(4)の「過去に構造分科会に関連して作成した検討書類」の名称を調査する。また、原子力規格委員会でのこれら検討書類の取扱いについて、必要に応じて検討する。
- ・資料 No.2-2-2 の P7 : 「5.5 行政省庁との協調」に関し、分科会についても国からの参加を引き続きお願いしていく。

(4) その他

次回は未定

以 上